



科学技術・大学

日本学術振興会賞

西村教授(東京医科歯科大)ら24人



西村教授

日本学術振興会は日本の学術研究の将来のリーダーと期待される「第8回日本学術振興会賞受賞者」として、色素幹細胞の同定および維持制御と

毛髪老化のメカニズム解明で業績を上げた、東京医科歯科大学の西村栄美教授ら若手研究者24人を決めた。

自然科学や人文・社会科学分野で2011年4月1日現在、45歳未満の国内外研究者が対象。推薦を受けた348人の中から選ばれた。27日に東京・台東区の日本学術院で授賞式が行われる。

自然科学分野におけるほかの受賞者と研究業績は次の通り。

▽小野輝男京大教授(ナノ磁性体を用いたスピンドバイスの基礎と応用展開)▽勝見武京大教授(性能評価に基づいた

地盤環境保全修復技術に関する研究)▽熊谷隆京大教授(複雑な系の上の解析学と確率過程論の展開)▽忍久保洋名大教授

(ポルフィリン系機能性分子の革新的な合成手法の開発)▽末永和知産総研上席研究員(電子顕微鏡による単分子・単原子の観察および分析)

▽高井研海洋機構プロگرامディレクター(極限環境微生物の探索と生態系駆動原理の解明および地球生命初期進化研究への展開)

▽田中貴浩京大教授(ブレン重力の研究)▽津本浩平京大教授(基礎科学から産業展開を目指すたんばく質相互作用の精密解析)▽中野貴由

阪大教授(材料工学的視点からの骨微細構造ならびに骨代替材料への複合領域型研究)▽西林仁昭東大院准教授(錯体科学を用いた新しい窒素固定法の開発)▽松浦和則九大院准教授(DNAやペプチドの自己集合特性を活用したナノ構造体の構築)▽家田真樹慶大特任講師(心臓発達制御機構の解明と直接リプログラミングによる新しい心筋再生法の開発)▽稲葉謙次九大准教授(たんばく質の品質管理に関わるシスルフィド結合形成・開裂システムの解明)

▽浦野泰照東大院教授(がん診断に資する論理的精密設計に基づく蛍光プローブの開発)▽木下

賢吾東北大院教授(情報科学的アプローチによる機能未知遺伝子の機能予測法の開発)▽高谷直樹筑波大教授(糸状菌の多様な電子伝達反応系の発見と機構解明)▽泊幸秀東大院教授(小分子RNAがはたらく分子基盤の解明とその応用)